



地獄ばやしに熱気の輪

8/25-26

第49回登別地獄まつり

8月25日(土)・26日(日)の2日間、登別温泉街で『第49回登別地獄まつり』(市、登別観光協会主催)が行われ、約6万1千人の市民や観光客でにぎわいました。

赤いちょうちんや東京都福生市から寄贈された七夕飾りが飾られたメインストリート『極楽通り』では、『鬼踊り大群舞』が行われ、温泉の湯気や鬼の角など、登別温泉の象徴的なものを表した覚えやすい振り付けに、最初は沿道で眺めていた観光客も『地獄ばやし』と太鼓に合わせ、一緒になって楽しく踊っていたほか、『鬼みこし暴れねりこみ』では、重さ約1トンの『赤鬼みこし』などが極楽通りを練り歩き、その迫力で沿道を埋め尽くした観衆をまつりの興奮に引き込みました。

また、閻魔大王が鬼の形相となり地獄の審判を下す、大迫力の『閻魔大王からくり山車』が運行されるなど、温泉街は熱気であふれていました。

初出場 全国大会で8強入り

8/25

第57回全国高校軟式野球選手権大会

8月25日(土)、兵庫県で開幕した『第57回全国高校軟式野球選手権大会』に登別明日中等教育学校軟式野球部が、北海道代表として出場しました。

同野球部は創部6年目で、同選手権大会北海道大会で初優勝を飾り全国大会へ初出場。一回戦は6-3と快勝し、ベスト8入りを果たしました。

続く二回戦は、昨年の優勝校に敗れ、惜しくも4強入りにはなりませんでしたが、9月30日(日)から岐阜県で開幕される『ぎふ清流国体』の出場権を獲得しました。



▲熱戦を繰り広げる北海道代表の選手たち(守備)